

○井上翔大

岩浅建設（株）様の建設現場体験セミナーに参加して、3つの班に分かれて体験し、最初に僕たちの班はコンクリートの打設体験をしました。現場の方々や先生から振動バイブレーターを抜くときはゆっくり垂直に抜けと言われ、その通りにしてみると、振動バイブレーターは思ったより大きく、重かったのでびっくりしました。3回くらいに分けてコンクリートを入れ、空気が入らないように気を付けて作業していたのですが、難しく最後見てみると底のほうに空気が入っていました。空気が入らないようにするのはすごく難しいと知りました。

次に、小型建設機械体験をし、最初に地面を平らにする 4t ローラーに乗りました。横にすごく優しく教えてくださったお兄さんのおかげで初めて乗る機械も全然緊張せず、楽しく乗ることができました。降りるときは必ずブレーキボタンを入れてから降りるという事に気を付けました。

次に、同じく地面を平らにする、転圧プレートを体験しました。初めに電源ボタンを入れ、ヒモのようなものを引っ張ってエンジンをかけ、地面を平らにし、エンジンを切るまでの作業をし、4t ローラー以外にも地面を平らにする方法があることを初めて知り、勉強になりました。

次に、バックホーに乗りました。学校で乗ったときぐらいの力で動かしたのですが、すごく動いてびっくりしました。学校で乗ったものよりも感度が高いと感じました。

次に、鉄筋の結束をしました。最初に、プロの人の早く正確な結束を見てカッコいいなあと思い、僕もやってみました。初めは全く見ただけではやり方さえわかりませんでした。プロの人に見てもらうと 60 点と言われました。改めてプロの人と一緒にやりました。すると、100 点と言われました。すごく嬉しくなったので、夢中になってやり続けていると気づけば鉄筋線の束が 2 本も無くなってしまいすごく楽しかったです。

最後に、現場の方々と一緒にドローンで記念撮影をしました。ドローンで写真を撮ったことがなかったので、近代化が進んでいるんだなあと感じました。

岩浅建設の方々お忙しい中、本当にありがとうございました。すごく楽しかったです。この体験セミナーを参考に将来の進路を決めていきたいです。

○入星 翔

今回は、お仕事中に貴重な時間をとっていただきありがとうございました。

僕は、あまり座学が好きではないので、現場体験と聞いた時から楽しみでした。

普段、工事中の現場は見ることはできても、中に入ってじっくり作業を見るような機会が無いので、とても新鮮に感じました。

生コンクリートをアクリルの型に流し込む体験では、生コンクリートは最初から液体状だと思っていたので砂利みたいになっていることを初めて知りました。そして、固める前にも振動バイブレーターを使った作業工程があることを知って驚きました。振動バイブレーターは想像していたよりも重くゆっくり引き抜くのは大変で、とても力を使いました。アクリル型なので空気の抜けていないのが分かりましたが、本当なら見えないので見ずに空気を抜くのはとても凄いなと思いました。そして、生コンクリートを入れるための型を作る専門の人がいるということを知ったとき、全部現場の人がしていると思っていたのでいろいろな人が関わって物が作られるということはとても楽し

そうだと思いました。

二つ目の体験は、小型建設機械体験でした。一つ目は転圧プレートでした。転圧プレートは三つの中で一番小型でした。それなりに重いものだと思っていたので、動かしてみると案外軽かったので少しびっくりしました。二つ目はバックホウの体験でした。バックホウは学校で体験した時かなり楽しかったのも、とても楽しみでした。一回乗ったぐらいでは、簡単にはできないと思っていたので心配でしたが、隣にいた人が丁寧に教えてくれたのでとても安心できました。体験後に聞いた話では少し乗るなら楽しいが、長時間の操作は流石につらいと言っていたことにたいし、僕はとても共感できました。理由は同じことを、それも同じ体勢で行うのはかなり根気と精神力が問われる仕事だと思ったからです。三つ目は 4t ローラーでした。僕はもちろんのこと車等の運転をしたことがないので、踏み間違いをしたり、事故を起こしたりしないかととても心配でした。ですが、隣の人が丁寧に教えてくれたおかげで、事故なく終われたのでよかったです。4t ローラーはただ走ってならすだけだと思っていたので、振動させるボタンがあると知ってほかの役割もあって、すこし大変そうだなと思いました。普通の車と違い両手ではなく、片手で運転するので感覚が難しくかなり苦戦しました。どの機械も操作方法や気を付けることなどが異なっていたので、難しかったがどの機械も共通して楽しかったです。

三つ目で最後の体験は鉄筋の結束体験でした。鉄筋の結束は結束線をハッカーで回し、括り付ける作業でした。最初と最後に見せていただいた、プロの人のやり方はしっかり締まっているにもかかわらず、とても早くて感動しました。最初はコツも分からずできないと思っていましたが、プロの人に教わって回数を重ねていくごとに上達する感覚があったので、とても嬉しかったです。プロの人はこの作業を何千としていると聞いて、驚きとともに尊敬の気持ちが出てきました。残り 10 分ぐらいにした片手で鉄筋を持って括り付ける作業は、最初手間取りましたが慣れると、楽しかったので帰るのがとても惜しく感じました。体験の際、プロの人が上手だと言ってくれたのが、とてもうれしかったです。

岩浅建設(株)様の方々には僕達の為に貴重で大切な時間を割いてくれたのにも関わらず、とても優しく丁寧にそして親しみやすいよう教えてくれた事に感謝してもしきれません。

最後になりましたが、本当に貴重で今後の為になる体験をありがとうございました。

○小池修創

私は、令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は主にコンクリートの打設、バックホーや 4t ローラーや転圧プレートの操縦、鉄筋の結束などの 3 つの作業をしました。体験は 3 班に分かれて行動し、40 分ほどでローテーションをしていきました。

まず、私たちの班はコンクリートの打設をしました。その内容は、大きな型枠にコンクリートを流し込んで振動バイブレーターを使って空気を抜きながら木ゴてで平らにしていくというものでした。私はコンクリートという水のようなものを型にはめて固めるだけだと思っていました。しかし、コンクリートは泥水みたいにドロドロでした。そして、そのまま固まるのを待つだけではなく、振動バイブレーターという機械を使って混ぜなければならないということも驚きました。混ぜているときはゆっくりと慎重に上にあげるのが重労働で大変でした。

次に、機械の操縦をしました。今回の体験セミナーで 1 番楽しかったです。普段扱うことのでき

ない機械を操縦することができてとても嬉しかったです。バックホーの操縦は学校の授業で使ったこともありスムーズにできました。転圧プレートは振動がすごくまっすぐに進めたり曲がったりするのが大変でした。4t ローラーはこの3つの中で1番楽しかったです。なぜなら、車を運転しているみたいでレバーを押したら前に進んで引いたら後ろに進みました。そして、ハンドルで向きを調節するという単純な操作なのでとてもわかりやすかったです。前に進んでいると思っていたのに斜めに進んでいたりブレーキをしたら車体がガタツとしたりしてしまいました。そういうところが難しいのだとわかりました。しかし、教えてくださった作業員の人に上手と言われたのでとても嬉しかったです。

最後に、鉄筋の結束をしました。ハッカーを使って結束線を鉄筋に結びました。はじめは全然結べず楽しくありませんでした。しかし、しているうちに速く巻くことが出来るようになり楽しくなりました。段々慣れてきたら巻きすぎて結束線が切れてしまいました。とても奥深い物だとわかりました。教えてくれた作業員の方がとても速く結んでいてカッコいいと思いました。私もそんな風にかっこよくなりたいです。

今回のセミナーでは貴重な体験をさせて頂き、岩浅建設(株)の皆様、ありがとうございました。皆様が私たちに教えている姿はとてもかっこよくみえました。私もそのようになれるように頑張りたいです。そして、後輩ができたときに慕われる人間になりたいです。

私は、土木系の大学に進学しようと考えています。今から努力をしてよりいい大学に行けるよう頑張りたいです。この体験をして土木のことが深く興味がわきました。この体験は、これからたくさんの方々の場面で生かしていきたいです。

最後になりましたが、この体験セミナーに参加してとても良い経験をする事ができました。本当にありがとうございました。

○佐野功太郎

私は、令和元年11月20日水曜日に岩佐建設(株)様が実施して下さった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は3つあり、コンクリート打設、鉄筋の結束、バックホー、4t ローラー、転圧プレートの操作の3つです。3班に分かれて行動し、1つ30分ほど体験しました。

初めに、コンクリートの打設体験をしました。3つに分かれてコンクリートの打設をしました。コンクリートを詰めると空気がどうしても入ります。それをなくすには、振動バイブレードという機械を使って空気を抜きました。ただ抜くだけではなく、型枠から隅のほうまで5センチほど開けて下まで差し込み、ゆっくり時間をかけて抜くのがポイントです。振動バイブレードを使うのは簡単だと思っていました。でも、体験してみると、とても重たく、思う通りに動かすことができませんでした。最後はコテで平にしました。体験をしてコンクリートの打設にとっても興味をもちました。

次にバックホー、4t ローラー、転圧プレートをしました。転圧プレートは、地面にある石を平らにします。とても振動がありました。エンジンをかけるのが少し難しかったです。

バックホーではしっかり操作できるかととても心配でした。でも、作業員の方が丁寧に教えてくださったので安心して操作することができました。4t ローラーでは車とは違ってタイヤが鉄の物もあり、曲がりやすくするためにタイヤが分離するしくみになっていました。操縦は意外と簡単で興味がわきました。

最後に鉄筋結束をしました。見た目は簡単に見えましたが、体験してみると、とても難しかったです。何回もしていくうちに素早くできるようになり、とても楽しかったです。結束線をハッカーで結束するのがとても速い方がいて、とても驚きました。

今回の建設現場体験セミナーに参加して、環境土木への印象がとても変わりました。将来は建設業の仕事につき、現場に立って地域の人に喜んでもらえるような建物を建てる立派な大人になりたいです。そのために部活動に力を入れ、コミュニケーション能力を身につけることができるように頑張りたいです。

今回は建設現場体験セミナーをさせて頂き、本当にありがとうございました。この体験を今後良い物として役立てていきたくと思います。

○下泉亜佑夢

僕はこの建設現場体験セミナーに参加してすごくいい体験をさせていただきました。

今回、僕たちは、国土交通省/岩浅建設(株)の方々の元、いろいろなことを教わりました。

まず、僕はバイブレーターを使ってコンクリート内の空気を抜くという作業をしました。隅には、空気がたまりやすいと言っていたので実際に見てみると空気がたまっていたのでより内容を理解することが出来ました。コンクリートがたまっていくにつれてバイブレーターを高く持ち上げないといけないので、とても筋肉を使い、きつかったです。

次に、転圧プレート、バックホウ、4t ローラーをしました。転圧プレートは、振動で体を持っていかれそうになり、エンジン音が大きく迫力があり驚きました。バックホウは、1回授業でしたことがあったので話を聞いて思い出しながらすることが出来ました。4t ローラーは、真ん中で分離しているので、急に回ることも可能で狭いところでも活躍し、僕が操縦すると終わりには前と後ろでとてもかたむいてしまいました。途中で焦っていた僕に対して、作業員の方は、もう一度説明してくれて、一緒になって教えてくれました。そのあと、4t ローラーをスラスラ操縦している姿を見てさすがだなと思いました。学校では扱えないような機械を体験させていただいてとても新鮮な気持ちになりました。

最後に、鉄筋の結束では、結束線をハッカーで固定する作業をしました。プロの方の手本を見ると瞬きするのももったいない位の速さでされて、簡単そうだなと思いました。実際やってみると、回転させるときにつかかったり、結束線が切れてしまったりと難しかったです。でも、コツをつかめばやることができました。30 分間、飽きることなくみんながずっと結束していて楽しかったです。低い位置での作業は腰が痛くなり、それを1日で何万、何千もやっている作業員の方を尊敬したいです。

終わりに、今回のセミナーでは、とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。普段授業では、あつかえない機械や現場の空気感を知る事が出来ました。若い年代でも名前で仕事をもらえるようにまずは、高校の3年間で頑張りより知識を伸ばしていきたいです。今日は本当にありがとうございました。

○浜村梨玖

僕は令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設(株)に行って沢山の事を学びました。

僕は1班だったのでまず生コンクリートの打設体験をしました。バイブレーターを使い、コンクリートの中の空気を抜くのに使いました。コンクリートは最初ドロのような感じでゴツゴツしてい

ましたが、バイブレーターを使うとツルツルした感じになりました。そして、体験してみると、とても力を使う仕事でバイブレーターをゆっくり抜くと教えてもらいましたが一定した速度で抜くのはとても難しかったです。僕たちが使ったバイブレーターは1メートル数十センチだったのですが現場で使うバイブレーターは約7メートルもあり、1人で使うことが出来ないと言っていました。そして、夏場は気温が高いため乾きが早いのでスピードも大事と言っていました。難しい仕事を難なくこなす姿はとても憧れました。

そして、次に小型建設機械体験をさせて頂きました。まず、4t ローラーを動かしました。最初は動かすのが怖かったけど動かし始めるととても楽しかったです。教えてくれていた方にも褒められて嬉しかったです。4t ローラーの前タイヤは鉄輪で出来ており、後ろタイヤはゴムで出来ていて、地面を平らにするためや硬く強くするために振動させることも出来る優れものとおっしゃっていました。とても驚いたのは、4t もある自動車なのに少しの傾きでも転倒することがあるということです。簡単そうに見えてとても難しい事をしているのだなと思いました。

次に転圧プレートを使いました。これもさっきと一緒に地面を平らにする機械です。1つだけ違うのは手で自分の足で動きながらする所です。振動が凄くて上手く使う事ができませんでした。次にバックホウを動かしました。基本的にゆっくり動かすと言われましたが、力加減が難しくてなかなか上手いこと動かせませんでした。このバックホウと4t ローラーはとても楽しかったので印象にとっても残りました。また動かしたいと思いました。

そして、最後に鉄筋の結束体験をしました。最初はとても難しくお世辞にも綺麗とは言えるものではなかったのですが、何回もしていくにつれてコツも掴み慣れてきて上手に出来るようになりました。どんどん上達していく達成感がとても気持ちよかったです。短い時間で多い量をしなくてはならないと聞いて試してみたのですが全然出来ませんでした。プロの技を見てみると比にならないスピードで結束しておりとても驚きました。みんな笑顔で優しく教えてくださり、とても分かりやすかったです。

土木の仕事に興味湧きとても良い経験になりました。ありがとうございました。

○福島陸人

僕は、令和元年11月20日水曜日に岩浅建設(株)様が実施して下さった建設現場体験セミナーに参加して、今までしたこのない体験をすることができ土木関係の仕事に興味わきもっと深く知っていきたいと思いました。

まず僕たちの班は、バックホウ、4t ローラー、プレートを体験しました。バックホーは、学校で操作したことはありましたが、その他の機械は初めて見たものがあり、とてもいい経験をすることができました。プレートは振動が激しく、プレートをコントロールするのが少し難しかったです。バックホーは少し力を入れるだけで大きく機体が動くので力加減を注意しながら操縦しました。4t ローラーは作業員の方が隣に寄り添ってやさしく丁寧に教えて下さったのでとても操作しやすかったです。けれど、初めて操縦したので難しく戸惑いが多かったです。

次に、鉄筋の結束体験をしました。最初に作業員の人の手本を見せてもらったとき、あまりに速く結束していたのでとても驚きました。僕も実際に体験してみるとハッカーが回るので最初は操作するのが難しかったです。作業員の人にアドバイスをもらってから少しずつ操作に慣れてスムーズに操作できるようになり結束するスピードも少しずつ速くすることができました。

次に、コンクリート打設体験の待ち時間の間に作業員の人が操縦するドローンの映像を見ました。間近で操縦するドローンの映像を始めてみる事ができました。ドローンがどんどん高いところまで飛んでいき、さっきまで手元にあったドローンが点のようにすごく小さく見えました。最新の建設現場ではドローンを使用していると作業員の人が教えてくれました。

最後にコンクリート打設体験をしました。振動バイブレーターはとても重くて持っているのはいっぱいでしたが、型枠の隅から5センチほど開けてという動作はとても力が入る動作だと思いました。10秒ぐらいかけて鉛直にまっすぐゆっくり引き抜くのがコンクリート打設のポイントだと聞きましたが、難しくなかなかすることができませんでした。

今回建設現場体験セミナーに参加して、今まで知らなかったことを知ることができました。今回体験したことはすべてやりがいを感じ、とても楽しかったです。また、土木関係の仕事に興味を強く持ちインターネットなどを使ってほかにどのような仕事があるかを調べようと思いました。この経験は、自分の進路選択の時の参考にしていきたいと思いました。今回の建設現場体験セミナーに参加してたくさんの貴重な体験をすることができました。

岩浅建設(株)の皆様本当にありがとうございました。

○三間溪斗

僕は、令和元年11月20日に岩浅建設(株)様が実施してくださった横断道津田高架橋下部P1工事の建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は3つあり、3班に分かれて1箇所30分程度でそれぞれ体験していきしました。

初めに僕たちの班は、バックホー、4tローラー、プレートの操作体験をしました。バックホーは、学校で操作したことがありましたが、そのほかの機械は操作をしたことがなかったのでとても良い経験になりました。また、バックホーは現場によって大きさを変えていると教えていただきました。特に印象に残っているのはプレートで、振動がとても強く操作をするのが難しかったです。4tローラーとバックホーは、作業員の方が分かりやすく丁寧に教えてくださったので、スムーズに作業を進めることができました。

次に、鉄筋の結束体験をしました。初めに、作業員の方に持ち方と結束の見本を見せてもらいました。僕も実際に結束をしてみると、綺麗に結束ができず隙間ができてしまったり、ハッカーを上手く回せなかったり、思っていた以上に難しく大変だったけど、作業員の方が優しく教えてくださったおかげでハッカーの使い方も少し慣れて最初よりも綺麗に結束をすることができて嬉しかったです。

最後に、コンクリートの打設体験をしました。アクリルの型枠にコンクリートを入れて、バイブレーターという機械を使って中の空気を抜きながらコンクリートを型枠の隅に送るという作業をしました。実際に体験してみて、バイブレターの重さに驚いたし、動かすのにとても力のいる作業だなと思いました。その後、コテを使ってコンクリートの表面をならす作業を体験しました。表面を綺麗にするのは時間がかかったけれど、綺麗にならすことができて良かったです。

今回の建設現場体験セミナーに参加して、僕たちが普段体験できないものを体験することができ、とても良い経験になりました。また、今まで以上に土木関係の仕事に興味がわいてきました。この経験はこれからの自分の進路に役立てていきたいと思いました。今回は、大切な時間を使ってこのような体験セミナーを開いてくださりありがとうございました。

○中上栞愛

私は、令和元年 横断道津田高架橋下部 P1 工事に参加しました。

3つの班に分かれ体験し、まず私はアクリル型枠での生コン打設体験をしました。テレビなどで生コンクリートを流し込んでいるところは見たことがありましたが、バイブレーターを使い空気を抜くという作業は初めて見たので、自分の知らないところでとても工夫されているのだなと思いました。しかし、やっぱりバイブレーターがとても重く、1人では作業するのが難しかったです。

次に、小型建設機械体験をしました。正直なところ一番楽しみにしていたのがこの小型建設機械の体験で、学校にはない 4t ローラーやプレートなどの機械を体験できると聞いていたので、はやく体験したいなと思っていました。最初にバックホーから体験し、1度学校で操作をしたことがあったので楽しんで操作をすることができ、何よりとても面白かったです。まだ全ての操作の仕方を覚えているわけではないので、これから授業などを通してしっかり学んでいきたいです。次に、4t ローラーを体験しました。自分が操作をし、後ろを見ると、地面が平らになっていたのも、とても感動しました。ガタガタするので、少し操作は難しかったです。一番楽しく「学校にもあったらいいのにな」と思いました。次に、プレートを体験しました。これまでの機械よりサイズは小さくて、操作は簡単そうだなと思ったのですが、実際体験してみて一番難しいと思いました。手元がとても震えるので自分の思ったようにならず、慣れるまでに時間がかかりそうだなと思いました。

最後に鉄筋の結束体験をしました。お手本でしてくださった方を見ると、簡単そうに素早くされていたので、私でも簡単にできるものだと思っていました。しかし、慣れるまでが大変で、不器用な私には理解するまでが長かったです。たくさん数をこなしていくうちに素早くできるようになったので、体験が終わるまでみんなと一緒にずっと鉄筋の結束をしていました。まんまとはまってしまい、家でも暇なときは鉄筋の結束をしたいなと思うくらい楽しかったです。

今回の建設現場体験セミナーに参加し、自分の進路の視野を広げることができました。現場で教えてくださった方の優しさに触れ、土木の作業は楽しいということを知り、自分もこの業界で活躍したいなと強く思いました。

この先の授業などを大切にし、しっかり考えていきたいです。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

○藤成美空

私は、令和元年 11 月 20 日の水曜日に、岩浅建設（株）様が実施してくださった横断道津田高架橋下部 P 1 工事の現場体験セミナーに参加しました。まず、3つの班に分かれました。30分ほどのローテーションでアクリル型枠での生コン打設体験、小型建設機械体験、鉄筋の結束体験の3つの体験をさせていただきました。

1つ目は、アクリル型枠での生コン打設体験をしました。バイブレーターという機械を使ってコンクリートの中の空気を抜く作業をさせてもらいました。1人で持つにはとても重く、手伝いが必要でした。もっと大きな規模でコンクリートを作る際には、体験で使ったバイブレーターよりももっと大きなものを使うので、現場の方は本当に流石だと思いました。仕上げに、金ごてで綺麗な平面にするのもなかなか上手に出来なかったです。

2つ目は、小型建設機械体験をしました。バックホーと 4t ローラーとプレートの操作方法を教えてもらいました。4t ローラーに初めて乗り、とても気分が上がりました。学校にない機械に触れ

るのは貴重でした。自分で操作して綺麗になった地面を見るととても嬉しくなりました。プレートは電源を入れるときにコツがあるみたいです。振動がすごくて、平らになるけど小回りするのが難しかったです。どの機械も使いこなすプロの方は本当にすごいと改めて思いました。

3つ目は、鉄筋の結束体験をしました。お手本で見せてくれた人は、手つきが素早く、見ていて圧倒されました。初めは結束の仕方が分からなく、ハッカーという道具も使いこなせなくて、結束線も束から1本取り出すのに苦戦していましたが、何回も回数を重ねるうちに1回目より2回目、2回目より3回目と上達していくのが自分でも分かり、現場の人にも褒められ、とても嬉しかったです。

私は今回の体験を通して、大きな1つのものを作るのはもちろん大変だろうけど、やりがいや出来上がったときの達成感はピカイチだと思いました。説明してくださっているときも、やる気が1番大事だと言っていました。だから、体験のときは自分から建設機械にどんどん触れていきました。今回の体験は、私にとって将来に関わることだったと思います。建設会社に興味を持ち、将来、建設会社に就職したいという気持ちが出てきました。これから、何をするにもやる気を出して好奇心旺盛に頑張っていきたいです。岩浅建設（株）の皆様、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

○宮本奈美

私たちは、令和元年11月20日水曜日に建設現場体験セミナーに参加させていただきました。体験は3つの班に分かれて、私の班はコンクリート打設、小型建設機械操作、鉄筋の結束の順に約30分交代で体験をしました。

初めにしたコンクリート打設では、バイブレーターを使って、空気を少しずつ抜いたり、コンクリートを隅々までいき渡らせました。バイブレーターはすごく重いうえにコンクリートが多くなっていくごとにもっと重く、抜きにくくなって大変でした。その後に金ごてを使って初めに少したたきながら、ならしていきました。コンクリートをまっすぐきれいにならすのはとても難しかったけど、いつもは固まったあとのコンクリートしか見たことがなかったので、生コンクリートを初めて見て、感動しました。

次にした小型建設機械の操作では、バックホウは学校の授業でも操作したことはありましたが、4tローラー、プレートに関しては、触ったこともなかったのですごく驚いたことがいくつかありました。4tローラーは、音が大きくて怖そうに見えるけど、乗ってみたら全然怖くなくて、とても操作のしやすい機械でした。プレートは小さくて操作しやすそうに見えるけど、曲がるときがすごく難しく、まっすぐ進むのも力がいって大変でした。でも、初めて操作して、とても楽しかったです。プレートのエンジンをかけるのも一回でできたのが嬉しかったです。

最後の鉄筋の結束作業では、初めは全然仕方も分からず、ハッカーの先をもって自分で回すことしかできなかったけど、何回かすると手首をうまく利用して結束できるようになりました。初めは、作業員の方のように早くきれいにはできなかったけど、回数を重ねるごとに上手にできたかなと思います。話を聞いた中で一番驚いたのは、1日多いときは1万もの鉄筋を結束するということです。

終わりに、今回はお忙しいなか、私たちのために建設現場体験セミナーを開催していただきありがとうございました。初めて体験することばかりで、とても勉強になりました。改めて、将来建設業に関わる仕事をしたいなと強く思いました。女性では、なかなかできない作業も多いと思います

が、男性にも負けないくらいの力をつけたいです。関係者の皆様、本当にお世話になりました。この経験を活かしてこれからも頑張りたいと思います。皆様も、お体に気をつけて頑張ってください。

○脇 愛菜

今回、私たちは、四国横断自動車道の工事現場にお邪魔させていただき、国交省/徳島河川国道事務所、岩浅建設(株)等の数多くの方々のご協力の元、建設現場体験セミナーに参加しました。

バスから降りて最初に目に飛び込んできた光景は、いつもだと遠くから眺めることしかない鉄筋だらけの景色でした。自分が今、工事現場にいるのだと肌で感じ、自分の中の建設業に対する好奇心をかりたてました。

3つのグループに分かれ、私たちのグループはまず小型建設機械の体験をさせていただきました。1つ目は、バックホーの試乗でした。学校で行った実習の際、操作したことがなかったブレードの部分の操作も体験しました。体験させていただいた場所以外にもたくさんボタンやレバーがあり、これを使いこなす現場の方々に羨望のまなざしを向けました。

2つ目は、プレートの体験でした。この機械は今回の現場体験セミナーで初めて知りました。無造作に並べられた大小さまざまな石の上を機械が通過した後石の表面が少し削られ、平らになっている様子を見て感動しました。自分が体験した際、スイッチを入れた瞬間に機械が進みだし、動きを制御することに思った以上に力が必要でした。自分が思っている方向とは少しずれた場所に進んでしまうなど難しい点が多々ありました。スイッチを入れ、進むといった至って単純な作業でも、実践経験の豊富な現場の方々には全く敵いませんでした。

3つ目は、タイヤローラーの試乗でした。私が思い描いていた複雑な方法とは違い、片手で車体を操作していました。片手で操作するといってもそんなに簡単なものではありません。近くで見ると、意外と車体が動くスピードが速く一瞬の判断が身の危険につながるということを考えさせられました。3つの機械を体験し終わると交代の合図が聞こえました。あまりに早い30分でとても充実していました。移動した先には、たくさんの鉄筋が並べられていました。

次の体験は、鉄筋の結束でした。まずは作業員の方の結束を見せていただきました。最初は何が起きているのかを目で追うことに必死で、手順が全くわからず終始啞然としていました。そのあと、丁寧に説明していただいたおかげで手順がわかるようになり、すらすらとできるようになりました。出来たとき、作業員の方々が褒めてくれたことがとても嬉しくて一番心に残っています。次にドローン飛行の見学をさせていただきました。片手で持てるほどの小さなドローンが大空にはばたく姿を見て建設業界のICT化の発展を感じました。操作がとても難しそうで、自在に操る作業員さんに感銘を受けました。

最後はコンクリートの打設で、アクリル型枠に注がれるコンクリートがバイブレーターによって隙間なく敷き詰められていく瞬間を近くで見ることができ、とても興奮しました。コンクリートを金ごてでならしているとき、同じ班の子たちがきれいにできていることが羨ましく、必死に作業しました。

集合の合図が聞こえ、もう終わってしまったのだと思い、とても名残惜しく感じました。将来建設業に関わった仕事に就きたいと強く思う体験となりました。そのためにも資格を少しでも多く取得出来るように勤勉に励もうと思います。この度はお忙しいなか本当にありがとうございました。

○鎌田悠吾

2019年11月20日、岩浅建設(株)様の横断道津田高架橋下部P1工事の現場体験セミナーに参加しました。3つの班に分かれて体験をしました。

僕の班が1番最初に体験したのは小型建設機械体験(BH.振動ローラー)です。まず転圧プレートやバックホウ、4tローラーの操縦をさせていただきました。まず初めに転圧プレートの体験をさせていただきました。転圧プレートは、振動で地面をならす機械でガタガタになっている地面をすぐにならすことができているので驚きました。次にバックホウの操縦体験をしました。バックホウは学校でも操縦したことがあったのですが、あまり上手にできませんでした。バックホウの操縦の時は隣で現場の方がずっと教えてくれていたので、凄く分かりやすかったです。失敗もせず、緊張もあまりしませんでした。

次に鉄筋結束の体験をしました。鉄筋結束はマンションや家、橋などの土台に使われるらしいです。結束にはハッカーという道具を使うのが意外と難しかったです。でも、現場の方が優しく教えてくれたので綺麗に出来るようになりました。現場の方は凄く早く綺麗にできていて凄いなと思いました。

次はアクリル型枠での生コン打設体験をしました。まず生コン車から生コンクリートを出してアクリル型枠に流し込んで、色々な場所に隙間ができないように振動バイブレーターで振動を送って隙間ができないようにしていました。さらに振動で空気なども抜いていました。振動バイブレーターを持ってみたときに最初に思ったことは、凄く重たいと感じたし凄く長いなと思いました。少しの間振動バイブレーターを持っていたら腕が痛くなりました。

次に4tローラーに乗りました。操作が難しかったのですが現場の方が隣で教えてくれたので、上手く操縦出来ました。

次にドローンの操縦も見せてもらいました。ドローンは上に120m 横に4kmまで動けて主に測量などに使われます。実際に飛ばしてもらった時に120m離れたらもうほとんど見えなくなりました。

今回は私たちのために建設現場体験セミナーを開催していただきありがとうございます。今回の現場体験セミナーに参加して今まで以上に土木関係の仕事に興味が湧きました。将来は今回の現場体験セミナーのような地図に残るような仕事に就きたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

○岩井響己

2019年11月20日、岩浅建設(株)様の横断道津田高架橋下部P1工事の建設現場体験セミナーに参加しました。今回は3時間の体験の中で6つの体験をさせていただきました。

初めに点圧プレートの体験をしました。これはローラー車の小型車から振動と圧力を加えて地面を平らにする機械です。実際に使ってみると想像していたよりも衝撃が強く、扱うのが難しかったです。

2つ目に、バックホウの操縦体験をしました。バックホウは学校での授業で操縦したことがあるので、あまり難しくありませんでした。

3つ目に、鉄筋結束の体験をしました。U字に曲がった1本の細い針金と、ハッカーという道具を使用しました。作業員の方は簡単そうにしていたのですが、やってみるととても難しく、コツがい

ることがわかりました。実際の現場では、1日で1万力以上することもあるそうで、とても驚きました。

4つ目に、ドローンからの映像を見ました。現場ではドローンを飛ばして測量などを行うそうですが、測量の時以外は基本的に使用しないそうです。許可なしでドローンを飛ばすことができるのは上空120メートル、横はおよそ4キロメートルだそうです。

5つ目に、コンクリートを流し込むところを見学しました。コンクリートの原料をコンクリート車の中に入れ、回転させて混ぜ込むそうです。そのコンクリートを容器に流し込みながら、バイブレーターという機械でコンクリートの中に空気を送ります。こうすることで、コンクリートが隅まで行き渡るそうです。今回の場合は2日間ほど乾燥させるそうです。乾燥してくると、コンクリートの中の水分が表面に出てくる「ブリジング」という現象が起こります。コンクリートを流し込んでから30分から1時間で水分が出てくるそうです。

最後にローラー車の操縦をしました。思っていたよりも移動スピードが速く、操縦も難しかったです。

僕は今回の現場体験セミナーに参加して、土木の仕事はとてもスケールの大きい仕事だと思いました。大きな橋や道路など、地図に残るものを造るので、とてもやりがいのありそうな仕事でした。機械に対する知識や、土木関係の仕事に対する考えがより深まりました。この度は、貴重な体験をありがとうございました。

○北尾雄磨

令和元年11月20日（水）岩浅建設株式会社様の現場体験セミナーに参加して、初めて目にしたり、触れたり、仕事をしている人の話を聞いたりしてとてもいい経験になりました。

現場に着いて3班に分けられました。僕がいる班はまず、バックホウ、点圧プレート、4tローラーの操作体験をしました。

まず、点圧プレートを実際に動かしてみて、手に伝わる振動が凄かったです。点圧プレートの電源をつけたまま手を放しておくと、勝手に移動してしまうのではないかと思うほどの振動でした。

次にバックホウの体験をしました。バックホウは学校でも少し乗ったことがあったのでスムーズではなかったものの多少は動かすことが出来ました。4tローラーはあまり時間がなくて少ししか乗れませんでしたが、でも、ハンドルを動かすのは難しかったと感じました。

次に、建物の土台を作るときに行われる結束の作業の体験をしました。この作業ではハッカーという道具を使いました。体験してみて、この作業は個人的にとても難しかったです。プロの人の話を聞いて1日に結束を何万個もしていると言っていたのでとても驚きました。また、結束には様々な種類がありまた、その試験もあるということも言っていたので驚きました。

次に、コンクリートの作業の体験の前にドローンの見学をしました。僕は飛んでいるドローンを見るのは初めてでした。また、結構強い風が吹いていたのににもかかわらずドローンは普通に飛んでいたのびびっくりしました。また、免許が無くても上に120メートル、横に4キロメートルと結構な距離を動かすことができるということにも驚きました。」

最後にコンクリートの作業をしました。まず、生コン車からコンクリートを型枠に入れてバイブレーターという道具を使い、中にある空気を抜きながら均等に広げるという作業をしました。空気を取り出すためにバイブレーターを動かすのですが、結構大変でした。

体験の待ち時間の時に現在、工事中の橋の完成図を見せてもらいました。何もないところにあのような大きな橋を作り出すということに僕は感動しました。

最後に、様々な貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今回の体験セミナーでたくさんの経験や知識を得ることが出来ました。また、土木への関心がより一層深まりました。本当にありがとうございました。

○野田諒介

私は、令和元年 11 月 20 日（水）、岩浅建設株式会社様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は主に 3 つあり、小型建設機械操作、鉄筋の結束、振動バイブレーターの 3 つです初めに小型建設機械の操作を体験しました。

1 つ目は、4t ローラーを操作しました。操作方法は簡単なのですが、やはり慣れた従業員の方でも操作を誤ってしまい、事故につながる事が多々あるそうなので危険だと感じました。しかし、安全のため、ボタン式の駐車ロックが備わっていて、効率よく地面を平らにするために散水機能や振動機能が搭載されていて、感動しました。次にプレートを操作しました。プレートは 4 トンローラーと行っていることは同じなのですが、プレートは 4 トンローラーの入ることができない狭い敷地を平らにすることができます。

2 つ目はバックホウを操作しました。バックホウは祖父や叔父が造園エクステリア業を営んでいるので乗った経験はあるのですが、実際の現場で操作してみると緊張しました。

3 つ目は、鉄筋の結束をしました。この結束は主に大きい建築物の土台に使われており非常に重要な存在であることがわかりました。実際に体験してみると、最初はハッカーをうまく使うことができずに時間がかかったのですが、何回も巻いているとしだいに巻くスピードが速くなりやりがいを感じる事ができました。

4 つ目は、振動バイブレーターを体験する前にドローンの見学をしました。タブレットから上空の映像を見るとかなりの範囲が映し出されていてびっくりしました。また、ドローンは、免許がなくても上空 120 メートル、横 4 キロメートルまで飛行可能なので、若者には向いていると思いました。

5 つ目は、振動バイブレーターを使ったコンクリートの打設を体験しました。振動バイブレーターは中にある空気を振動させることによって外へ押し出し、型枠の隅々までコンクリートをいきわたらせることができます。また、コンクリートは 1 日に 3N/cm ぐらい固まり、28 日ほどである程度固まります。ある程度時間が経ってくると、水が表面に蒸発してくるのでコテで慣らすことを繰り返すときれいになるということがわかりました。

このような貴重な体験ができてとてもいい経験になりました。社会人になっても、ここで学んだことを忘れずに働きたいです。ありがとうございました。

○福本皓亮

私は令和元年 11 月 20 日水曜日、岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は主に 3 つあり鉄筋の結束、コンクリートの打設、小型建設機械の操作体験です。体験は 3 班に分かれて、30 分ほどのローテーションをしていきました。

初めに小型機械の操作体験をしました。4t ローラー、転圧プレート、バックホウの 3 つを体験しました。4t ローラーは地面を平らにするとお聞きしました。4t ローラーは最初にエンジンをかけ

ました。エンジン音がとても大きく迫力を感じました。4t ローラーはハンドル操作がとても難しかったです。また前に進むときもレバーを下げすぎるとスピードが出てしまうのでその操作が大変でした。転圧プレートは 4t ローラーが入れないような狭い場所で作業をするとお聞きしました。転圧プレートは振動するのでまっすぐ進むのが大変でした。バックホウは土をすくったり穴を掘ったりするとお聞きしました。バックホウは土をすくうのが大変でした。レバーを慎重に動かさないと機械が速く動いてしまうのでその操作が大変でした。このような機械を使って道路などの土台を作っていると思うと胸が高まりました。

次に鉄筋の結束体験をしました。結束体験では結束線と呼ばれる針金を使い鉄筋同士をつなげ合わせました。最初に結束線を斜めに入れハッカーと呼ばれる金属の棒で結束線を 3 回転して固定しました。私がやるとスピードが遅く変な結び方になりました。隣にいた建設現場の方は何もないように 2 秒くらいで固定していました。職人と素人の違いを実感しました。またアドバイスを受けるよりも以前よりうまくできました。鉄筋の結束はとても技術がいたと思いました。

次にドローン体験をしました。ドローンはすごいスピードで上空へあがりました。建設現場の方がこのドローンを使って測量などをすると教えてくださいました。ドローンを使って測量することは科学技術が進歩したのだと思いました。

最後にコンクリート打設体験をしました。振動バイブレーターを使ってコンクリートを端までいきわたらせコンクリートに混ざっている気泡を取り除きました。固まる前のコンクリートは普段のコンクリートからは想像できないくらい水が混ざっていたのでとてもびっくりしました。

終わりに、今回のセミナーではとても貴重な体験をさせて頂き、岩浅建設(株)の皆様本当にありがとうございました。私の将来の夢はネクスコに入り高速道路建設の仕事をする事です。今回の現場体験で土木の現場のことにもっと興味を持ちました。今回の現場体験セミナーを将来の夢に役立てていこうと思います。

○古川仁一郎

私は令和元年 11 月 20 日（水）岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。建設現場体験セミナーに参加して、いろいろな事を学び、土木の仕事についてもっと興味をもちました。

僕は最初に、4t ローラー試乗の体験をしました。4t ローラーに乗ると視線がとても高くですごく怖かったです。4t ローラーのいろいろな操作を教えてもらった後に動かしてみると、とても車のような動き方をしたから少しびっくりしました。僕がこの 4t ローラー試乗の体験をしてすごいと思ったことが 2 つあります。まず 1 つ目は、駐車ブレーキを押すと走行できなくなることです。そのような機能があるのはすごいと思いました。2 つ目は、プロになるとタイヤローラーを走行させながら地面を振動させるということを聞いてすごいと思いました。そして、タイヤローラーは広い範囲を平らにするために使うのと、転圧プレートは狭い範囲を平らにするために使うということを初めて知りました。

鉄筋結束の体験では、ハッカーを使って 1 日に何万個も鉄筋結束をつけるのに驚きました。現場の人たちがすると 3 秒もしないうちに 1 個できているからとても速いと思いました。

ドローンの体験では、ドローンを空高くに飛ばし、タブレットで上空からの景色が見えてすごい技術があることを知りました。ドローンを飛ばすコントローラーを操作する人はとてもすごいと思

いました。だけどドローンは測量以外にあまり使わないのが、意外でした。

コンクリートの体験では、目の前で箱にコンクリートが入れられていたのでとも印象に残りました。コンクリートを入れた後コンクリートの中の気泡などが入っているからそれらを除くために、バイブレーターという機械を使っていました。僕もバイブレーターの体験をしてみると意外に重たかったです。バイブレーターをした後コテという道具でコンクリートを平らにしました。

今日、僕はこの体験で初めて知ったことや驚いたこと、びっくりしたことなどを学びました。とてもいい体験ができてとてもうれしかったです。ありがとうございました。

○里見紅玲葉

私は、令和元年 11 月 20 日の水曜日に岩浅建設（株）様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。

初めに、鉄筋の結束体験を行いました。結束線が思っていたよりも細くて驚きましたが、職人の方が結束をすると、とても頑丈で更に驚きました。ハッカーを回すのが難しく、最初に行った結束は、弱くなってしまいました。2 回目は、多く回して結束線が切れてしまいました。そこに職人の方が、ゆっくりと手本を見せてくださり最後は、しっかりと結束することができました。

次に、コンクリートの打設体験をしました。バイブレーターは重く、職人の方が支えてくださり、操作することが出来ました。コンクリートの打設はとても力のいる作業だなと感じました。木ゴテでコンクリートをならす作業では、平らにならず難しかったです。職人の方がスーッと木ゴテを動かして平らになっていて職人の技はとても早く、丁寧で尊敬しました。

次の体験の前にドローンの操作も見せていただきました。ドローンの操作を初めて見て、思ったよりも高く飛んでいて、とても興奮し、見る事が出来てとても嬉しかったです。

最後は、小型建設機械の操作体験をしました。初めに、4t ローラーの操作体験をしました。車の運転と動かし方が全然違っていて驚きました。後ろに進む時に真っ直ぐにするのが難しく、レバーの真ん中が分からず、止まる時に前に進んだので操作は難しかったです。次に、小型振動ローラーの操作体験をしました。エンジンをかけるときに、上手くかけることが出来なかったです。操作は、体が振動ローラーに持っていかれそうで難しかったです。最後に、バックホウの操作体験を行いました。学校で一度操作したことはありましたが、前回上手く操作することが出来なかったので緊張していましたが、丁寧に教えてくださり、しっかりと操作することが出来ました。

今回のセミナーでは、このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。初めて見る機械や体験ばかりでとても楽しく、やりがいを持つことが出来ました。この体験を自分の進路に活かしていきたいと思います。

○飯田一誠

僕は岩浅建設（株）様の現場体験セミナーに参加させていただき、たくさんのことを学びました。

その中でも最も印象に残っているのは鉄筋の結束です。職人の方が手本を見せてくださった後、自分がやってみるとなかなかうまくできませんでした。そんなに難しくはないのかと思っていましたが、僕が想像するよりはるかに難しかったです。でも職人の方がハッカーの使い方のコツを丁寧に教えてくれました。ハッカーの持ち手部分や回し方のコツなどを教えてもらい、それを聞いた後にやってみるとだんだんとコツがわかってきてすらすらできるようになりました。回しすぎるとちぎれてしまう時があるので力加減も難しかったです。

次にコンクリートの打設体験をしました。コンクリートを流し込んだ後で、空気を抜くためにバイブレーターを使いました。少し重くて色んな場所の空気を抜くために持ち上げる作業は、結構力を使いました。その後、木ゴテを使ってコンクリートを平らにする作業をしました。何回もするたびにコンクリートの表面がきれいになっていき、すごく感触が良かったのを覚えています。盛り上がったところを平らにしていると、また違うところが盛り上がってきて、きれいにするのには結構時間がかかりました。

最後に小型建設機械を動かしました。動かしたのは、バックホウ、振動ローラー、4t ローラー、の3種類でした。最初に運転したのは、バックホウでした。バックホウは一度学校で運転したことがあったので、運転のやり方はなんとなく覚えていました。バックホウの土を掘る作業はとても楽しく、ワクワクしました。次に振動ローラーの体験をしました。振動ローラーはとにかく振動がすごかったのを覚えています。エンジンのかけ方を作業員の方に教えてもらった後やってみると、一回でエンジンをかけることができず、2回目でかかりました。最後の4t ローラーが一番楽しかったです。少し怖かったですが、作業員の方が丁寧に教えてくださったので大丈夫でした。

今回の現場体験セミナーで貴重な体験をさせていただきありがとうございました。これからの自分の進路に役立てていきたいです。

○篠原芽春

建設現場体験セミナーに参加して、実際に建設現場で行われている作業を体験することができました。

まず、鉄筋の結束体験をしました。指導してくださった方々は、とても速く、そして頑丈に鉄筋を結束していました。ただでは、手順が少なくシンプルで簡単に出来ると思っていましたが、実際にやってみると想像以上に難しくて結束1つするのにとても時間がかかり苦戦しました。

次に、コンクリートの打設体験をしました。バイブレーターを使って空気を抜く作業をしていると、バイブレーターが重くてバイブレーターを引き抜いたり、位置を変えたりすることが難しかったです。コテでコンクリートを平らにするときは、きれいにする事ができて褒めてくださったのでうれしかったです。

最後に、建設現場で使われている機械を操縦しました。小型締固め機、バックホウ、4t ローラーの3種類の機械を操縦しました。小型締固め機械コーナーでは、振動が腕にまで伝わってきて前進は自動で動いてくれたので簡単でしたが、旋回をさせるのが難しかったです。バックホウ操縦エリアでは、土を掘る作業をしました。実習の授業で1回だけ操縦したことがあったので3種類の中では1番操縦しやすかったです。途中で操縦を間違えそうになったときは、優しく丁寧に教えてくださりました。4t ローラー操縦エリアでは、4t ローラーの前進と後進の操縦をしました。途中で機械を振動させると、小型締固め機よりも大きな振動がきてびっくりしました。

体験をしている合間に、四国横断自動車道の完成予想の写真をを見せていただきました。とても立派な自動車道で完成して開通した姿を見るのが楽しみになりました。また、走行してみたいと思いました。

今回の体験セミナーは、岩浅建設株式会社様をはじめたくさんの方々のご協力のおかげで有意義な体験セミナーになりました。これからの進路に役立てていきたいです。今回は本当にありがとうございました。

○上甲隼稜

私は、令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設株式会社様の横断道津田高架橋下部 P1 工事の建設現場体験セミナーに参加させていただきました。体験した内容は主に 3 つで、鉄筋の結束体験、アクリル型枠での生コン打設体験、小型建設機械体験の 3 つです。

初めに、鉄筋の結束体験を行いました。ハッカーと結束線を使って鉄筋を動かないように固定するとゆう作業でした。最初見た時は職人の方がとても簡単そうに作業されていたので意外と簡単にできると思っていたけど、結束線にハッカーを通してハッカーを回す動作が難しく結束線をうまく巻けませんでした。しかし、練習時間をたくさんくれたので、しっかりと止められるまで上達することができました。回しすぎて結束線を切ってしまいました。

次にアクリル型枠での生コン打設体験をしました。型枠に入っているコンクリートにバイブレーターを入れて空気を抜く作業でした。空気を抜くことでコンクリートの強度をだすことができ、隅々までコンクリートをいきわたらせることができることを初めて知りました。バイブレーターを持ち上げて違う場所に移動させるのに、想像以上に力がある事にビックリしました。コテでセメントを整える時は左右に揺らしながら整えれば綺麗にできることが分かりました。また、小石が浮いている時はコテでペタペタすると小石が下に下がりならしやすくなると教えてくれました。コテで触った時の何とも言えない感覚が忘れられません。

最後に、小型建設機械体験をしました。バックホウ、4t ローラー、小型締固め機械、バックホウは学校で動かしたことがあったけど、小型締固め機械や 4t ローラーは初めて動かしました。小型締固め機械は、押して歩くたびに振動が伝わってきて真っ直ぐに進ませるのが大変でした。4t ローラーは、思っていたよりも大きくて迫力がありました。運転するのに両手を使うと思っていましたが、片手で運転すると知って驚きました。また、運転している時に「運転うまいね」と言ってくれたことがとても嬉しかったです。

今回の体験セミナーでは普段は体験できない貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。現場体験をさせていただいたことで土木への興味が更にわきました。今まで知らなかったことを沢山知れてとても楽しかったです。この経験を基に将来の進路を決めていきたいと思います。今回は本当にありがとうございました。

○炭 宗汰

私は、令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は主に 3 つあり、鉄筋の結束、コンクリートの打設、小型建設機械操作の 3 つです。体験は 3 班に分かれて行動し、30 分ほどのローテーションをしていきました。

僕たちの班は、鉄筋の結束体験を行いました。鉄筋の結束では、ハッカーと結束線を使って鉄筋を固定するという作業です。最初は職人の人が見本を見せくれました。1 秒ぐらいの速さで結束していて、何が起きたのか分かりませんでした。ぼくも見様見真似で結束してみました。しかし、思うようにできませんでした。でも、その時、職人の人から手首を回転すると上手くできるとアドバイスをもらいました。するとゆっくりですが、きれいに結束することができました。出来たときは本当に嬉しかったです。

次はコンクリートの打設体験をしました。コンクリートは落差と角度が大事です。それに高さは 150 センチ以下です。型枠の中にコンクリートを入れて、その空気を抜くためにバイブレーターと

言う道具を使いました。非常に重く思うように動かせませんでした。使用している際に職人の人たちがそばで支えてくれたので非常に心強かったです。その後、コテを使ってコンクリートをならしました。最初、コテの面を全て付けてならしました。しかし、それでは、コンクリートの表面がデコボコになってしまいました。僕はなぜデコボコになるのか不思議に思い、職人の人に聞きました。コテの端を浮かすと表面が綺麗になると聞きすぐにそれを実践してみました。すると、さっきのデコボコが嘘のように無くなりそれとは逆につるつるになりました。とても嬉しかったです。

最後にバックホウ、4t ローラー、小型締固め機械の操作体験をしました。バックホウは、以前授業で操作したことがありました。しかし、操作方法を忘れていました。職人の方が的確にアドバイスをくれたおかげで操作方法を思い出すことができて、以前授業でやった時よりも上手く操作する事ができ、とても嬉しかったです。次に 4t ローラーを体験しました。初めて操作しましたが、職人の方にアドバイスをもらい、最初に比べて上手く操作する事が出来ました。最後には一人で上手く操作する事が出来てとても嬉しかったです。最後に小型締固め機械を体験しました。これも初めてで、エンジンをかけた途端に体が持って行かれてとても怖かったです。これは建設現場で 4t ローラーが通ることが出来ない小さなところを小型締固め機械を使うと教えていただきました。

今日は建設現場体験セミナーを開催して頂きありがとうございました。今まで知らなかったことを知ることが出来ました。更に土木の仕事に関する興味が湧きました。僕は将来鹿島建設株式会社に働き、世界に名を刻むような建物を創るのが夢です。今回は本当にありがとうございました。

○田中蒔家

僕は令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験をする際、3つのグループに分けられました。僕たちのグループは鉄筋の結束、コンクリート打設、建設機械の操作の順で体験させてもらいました。

鉄筋の結束では、ハッカーを使い結束線を鉄筋に結びつける作業でした。お手本を作業員の方が見せてくださりました。すると、一瞬で結束線を結びつけていました。それを見て簡単そうだと思いましたが、実際に体験させていただくと意外と難しくて上手く結ぶことができませんでした。作業員の方からアドバイスをもらい、3回ほどでコツを掴むことができました。鉄筋の結束は1日に何万回もすると作業員の方がおしゃっているのを聞いて、とても大変だけどやりがいのある仕事だと思いました。

コンクリート打設ではバイブレーターで空気を抜き、コテでならす作業をしました。空気を抜く作業は2人で行いました。バイブレーターが思っていたより重たくて抜いたり違う場所に変えたりするとき大変でした。コンクリートは皆でならしました。生コンクリートは思っていたよりも柔らかかったです。綺麗にならすことができたので良かったです。

建設機械の操作をさせてもらう前にドローンの操作をするところを見せていただきました。僕は初めて飛んでいるドローンを見ました。見えなくなるぐらい飛び、さらにとても高いところからでも写真が取れるのですごいなと思いました。また、ドローンはラジコンのように操作が簡単なのだと思っていましたが、リモコンを見せていただくととても難しそうでした。

小型建設機械の操作では、3組に分かれて操作を行いました。僕はプレート、バックホウ、タイヤローラーの順に操作しました。プレートは簡単そうに思いましたが、強い振動で操作が難しかったです。プレートは小さいのでタイヤローラーなどが通れないような狭い道などをならすことがで

きるので、とても重要な役割を果たしているのだと思いました。バックホウはゆっくり操作しているつもりでも早く動いてしまうので、調整が大変でした。以前授業で操作した時も上手く操作ができなかったのでいつか作業員の方のように操作できるようになりたいです。タイヤローラーは傾いて進んでしまい、その時の運転が少し難しかったです。どの機械も操作が難しかったので、それらを乗りこなすことができる作業員の方々はすごくかっこいいと思いました。

この度は体験セミナーに参加させていただき本当にありがとうございました。普段することができないので、どれも貴重な体験でした。さらに、色々なことも作業員の方々から教わりとても良かったです。土木関係の仕事にさらに興味を持つことができました。自分の進路を決める時に、今回の経験を活かしていきたいと思います。僕は津田に住んでいるので津田 IC が開通するのが楽しみです。岩浅建設(株)様、これからもお仕事を頑張ってください。

○西前克哉

僕は、令和元年 11 月 20 日水曜日の建設現場体験セミナーに参加して、建設の仕事により興味をもちました。体験内容は主に 3 つあり、体験は 3 班に分かれて 30 分交代でまわります

初めに、鉄筋の結束をしました。鉄筋を結束する為に結束線とハッカーという道具を使います。まず、お手本を見せてくれました。お手本を見ていると簡単だと思いましたが、実際やってみると結構難しく結束線でうまく結束出来ませんでした。でも、なかなかできずに困っている僕を見て指導員の方が僕のところに来てくれて、ハッカーを上手く使うコツとかを教えてくれました。ハッカーを持つとハッカーの先が回転します。その回転を利用して鉄筋を結束するというものです。そのコツのとおりやってみると最初よりうまくなっていたので嬉しかったです。他にも指導員の方が使っているハッカーはベアリングがついていて値段が高いそうです。

次にコンクリートの打設体験をしました。まずコンクリートを型枠に 3 回に分けて流し込みます。コンクリートを流し込むときにエアーと一緒に入るのでエアーを抜くためにバイブレーターを使います。バイブレーターを持つと思ったよりも重かったので驚きました。使ってみるとコンクリートがバイブレーターにまとわりついてやりにくく思った通りに動かせませんでした。コンクリートからバイブレーターを抜く時もコンクリートがまとわりついていたので重くて大変でした。次に流し終わった後にコテという道具でコンクリートの表面をならします。コテでコンクリートをならすときコテにコンクリートがついてうまくならせませんでした。

最後は小型建設機械の操作体験をしました。バックホウ、プレート、タイヤローラーの順番で体験しました。バックホウはまず、周りを見てからエンジンをかけて安全レバーを降ろしてから操作します。操作をしてみるととても難しかったです。次にプレートを操作しました。まず、操作する前にエンジンをかけてから操作します。このエンジンをかける作業が結構難しかったです。引っ張り過ぎたらいけないので絶妙な感じで引っ張らないといけません。僕は 2 回で成功しました。最後は、タイヤローラーを操作しました。タイヤローラーのハンドルが車のハンドルとは違うので操作が難しかったです。ハンドルには、1 本の棒がありそれを握って操作します。実際に操作すると右に行く時や左に行く時のハンドル操作がとても難しかったです。

今回のセミナーでは貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。もし、建設業に就職したらこのセミナーで体験して学んだことを生かしたいと思います。

○濱井雄大

現場体験セミナーに参加して、僕は改めて建設現場ではどのような仕事をするのか知ることができました。

1つ目は、体験したのは鉄筋の結束でした1回目はやり方が分からず戸惑っていたけど指導員の方が丁寧に教えてくださりすぐにできるようになりました。僕には少し難しく結束するのに数秒かかってしまったけどプロの方はこの作業をととても早く、簡単そうにやっていたのでやっぱりすごいなと感じました。僕は最初プロの人は1日4000回くらいこの作業をするのかなと考えていました。しかし友達が質問したところプロの人は1日1万回以上結束すると聞き予想していた回数と全く違っていたのでとても驚きました。

2つ目は、コンクリートの打設体験をしました。コンクリートを流し込み次に気泡を抜いたり、コンクリートを隅々までいきわたらせるために使用するバイブレーターを使いました。持ってみると想像以上に重くて持つのがとても大変でした。コンクリートの中に入れるとバイブレーターを思うように動かせませんでした。バイブレーターを使用する作業は思っていた以上に力が必要だということがわかり良かったです。楽しい作業だったのもっとやりたいなと思いました。

3つ目は、楽しみしていた4tローラー、プレート、バックホウの小型建設機械を操作する体験でした。まずプレートの体験でした。見たことのない機械だったので操作するのが楽しみでした。操作してみると自分に振動が伝わってきて操作しにくかったです。4tローラーが入ることができない道路などに使うとわかり疑問が解決できたので良かったです。

4つ目は、バックホウの体験では一度学校で操作したけど操作方法を忘れてしまっていて少し不安でしたが、指導員の方が一緒に操作してくれたのでうまくできました。最後の4tローラーでは左にあるボタンを駆使しながら運転するのが難しかったです、何とかできたので嬉しかったです。

建設現場セミナーでたくさんの体験や経験ができたので参加して良かったと思いました。現場体験セミナーを開催してくださり本当にありがとうございました。

○福本景太

僕は令和元年11月20日(水)に岩浅建設(株)様が実施してくださった建設現場体験セミナーに参加しました。体験内容は3つあり、鉄筋の結束体験、小型建設機械体験(BH、振動ローラー、4tローラー)、アクリル型枠での生コン打設体験です。

初めに鉄筋の結束体験を体験しました。見本を見せてもらったとき簡単そうだなと思いました。でも、実際体験してみると思った以上に難しくて驚きました。ハッカーの回しが足りないと緩くなるため、回しすぎると針金が切れてしまいます。このような加減がとても難しかったです。僕らが使ったハッカーは800円と聞いて案外安いのだなと思っていました。でもプロが使うハッカーは1万3000円と聞いてとても驚きました。僕は一つの針金を結ぶのに40秒ぐらいかかってしまったけどプロは1~2秒で結んでいてすごく感心しました。

次に、生コン打設体験を体験しました。コンクリートを型枠に流し込んで平らにするだけだと思っていたけど、エアーという機械で空気をこまめに抜くという作業がありました。空気を抜いているとプツプツと小さい穴があいていました。これは、コンクリートの中の空気が抜けている証拠です。コンクリートの中に入れていたエアーを抜くときも垂直にゆっくり抜くことで、コンクリートの中に再び入ることを防ぎます。コンクリートも表面をならすときにコテを少し傾けてならすことでう

まくなることができます。うまくなることができますとても楽しかったです。

最後に、小型建設機械体験(BH、振動ローラー、4t ローラー)を体験しました。BH は学校の授業で体験したことがあったので、使いやすかったです。一回で 0.15 立米を一回ですくえるということを知りました。後ろについているハイロガンという部分は土をおしたり、ならしたりする役割があることも学びました。振動ローラーでは、常に力を入れていないと機械の力に負けてしまうのでとても疲れました。4t ローラーの体験では運転席に、たくさんのスイッチがあり地面をならすときに使う振動スイッチを押すといきなり大きく振動したのでとても驚きました。

この経験をこの後の人生に生かし就職先を決めていきたいと思います。この度はこのような体験セミナーを開催していただきありがとうございました。

○増本快斗

僕は、令和元年 11 月 20 日水曜日に岩浅建設(株)様が実施してくださった現場体験セミナーに参加しました。体験内容は鉄筋の結束体験、小型建設機械体験 (BH・振動ローラー)、アクリル型枠での生コン打設体験の 3 つです

まず、3 班に分かれて体験を行いました。僕が最初に行ったのは鉄筋の結束体験です。初めに職人の人達が教えてくれた通りにするとハッカーがうまく回らずに苦戦していました。コツなどを聞いてみると最初は、ハッカーが回らないようにするのがコツだと聞いてやってみるとうまくできました。しかし職人の人たちは 1 日に何万個も止めると聞いてとても驚き、日々の積み重ねで早く止められるのだと思いました。

次に、アクリル型枠での生コン打設体験をしました。生コンを流しいれた後にバイブレーターで隅々まで生コンを詰めました。バイブレーターは思ったよりも重たく扱うのが大変でした。最後にコテで表面をならしました。コツは表面に出ている砂利などを中に入れるためにたたいて入れることだと聞きました。

最後に小型建設機械体験 (BH・振動ローラー) をしました。僕は初め 4t ローラーを操縦しました。ハンドルを少し動かすだけで左右に移動するので真っすぐ進むのが大変でした。次にプレートを操縦しました。エンジンを入れるとすぐに移動したので驚きました。最後に BH を操縦しました。一回授業で体験したことはありましたが、久しぶりに操縦したのであまりうまくできませんでした。しかし丁寧に教えてくれたのでスムーズにできました。

現場に到着した時に大きな橋脚があり、これを人の手で作っていると考えると想像できませんでした。しかし長い年月をかけて地図に残る建物を作る仕事はとてもやりがいがある仕事で、とてもわくわくする仕事だと実感しました。今回このような体験セミナーを実施してくださったおかげで将来のやりたい仕事のイメージが少しついたのでとてもいい体験になりました。このような体験セミナーを開いていただきありがとうございました。

○山西智也

僕は令和元年 11 月 20 日 (水) に岩浅建設 (株) 様の現場体験セミナーに参加して、3 つの班に分かれて体験しました。体験内容は、鉄筋の結束体験、アクリル型枠での生コン打設体験、小型建設機械体験 (BH・振動ローラー) の 3 つです。

1 つ目は、鉄筋の結束を体験しました。最初に職人の方に手本を見せてくださりました。1 秒もかからず結束していたので簡単そうに見えたけど、いざやってみると全然うまくいきませんでした。

でも何回かしていくと、少しうまくいくようになりました。職人の方は、1日に何万個も結束すると聞いて驚きました。

2つ目は、アクリル型枠での生コン打設を体験しました。型枠は釘などで止めるだけでは強度が足りないので、セパやCちゃん、くさびで強度を上げることがわかりました。生コンを打設するとき、型枠の前面がアクリルになっていたのが入っていくのが見えてわかりやすかったです。ただそのまま生コンを打設するのでは、空気が入っていたり、生コンが均等にならず、バイブレーターで振動を与えてその2つをなくし、強度を上げることがわかりました。ならす作業は木ゴテを使ってみました。初めて触る生コンは思っている以上に柔らかかったです。

3つ目は、僕が一番楽しみにしていた小型建設機械体験（BH・振動ローラー）体験をしました。最初に、振動ローラーに乗せていただきました。ゆっくり動くイメージがあったけど意外と速くてびっくりしました。後から振動ローラーは4tもあると聞いてさらにびっくりしました。

次に、プレートを操作しました。エンジンを始動するのは少し難しく、2回引っ張ってエンジンが始動しました。進む力がとても強く、操作するのが大変でした。最後に、BHに乗らせていただきました。僕が乗らせていただいたものは、バケット一杯で、0.15立米すくえるものでしたが、現場には0.7立米もすくえるものもありました。とてもかっこよく、将来乗りたいと思いました。

今回、現場体験セミナーに参加してみて、驚くことがたくさんあり、たくさん学ばせてもらいました。将来のことも、うっすらとし考えていなかったのですが、今ははっきりと建設業の仕事に就きたいと思いました。現場体験セミナーを開催して頂きありがとうございました。